

## 立川市の文化芸術振興

行政と市民が協力し努力してきた事が蓄積されてきている。

文化振興推進委員会でも、成果と課題について積極的に議論されてきた。

↓

議論されてきた事を再確認し、どう活かし次期振興計画に発展させていくかが現委員会に課されたテーマだろう。

第4次文化振興計画の策定にあたり、どのように具体化できるかを前提に、体系化に向けて検討する。また優先順位についても考慮する必要がある。

### 課題：

- ・文化芸術は独立した概念ではない
  - 社会に欠かせないものとして、産業や生活に結びつけていく努力が必要
  - 立川市の理念をより積極的に発信し、だれもが共有できるようにする
  - 多様な主体と環境を意識し、世代や障がい、格差を超えて表現し享受、参加できる場をつくる
- ・横のつながりを作っていくための手段、方法
- ・発表の場 → 方法も含めて具体的にあげていく
- ・鑑賞の場、参加できる場を充実させる
- ・ファーレ立川ー立川の個性 → 資源としてさらに活用
  - ファーレ作品 → サイトのリンクや作家情報の提供など
- ・アーティストの支援 → 手段、方法などさらに進める
- ・文化芸術を支える人材の確保と養成
  - コーディネーター、ファシリテーターの確保と将来に向けたボランティア・スタッフの養成
- ・立川市の物的、人的資源を活用したイベントの開催
- ・図書館、学習館、こども未来センターなど公共スペースの柔軟な活用
  - 現状の不満や実績の把握と改善
- ・民間の施設や店舗との連携、活用
  - 若手アーティストや学生作品のホームステイなど
  - 公共の施設や大型店舗の壁面、廊下などの活用